



わかくさ

vol.117



※本誌に掲載されている写真について、感染対策には十分配慮し撮影しております。

Topics

- 新年のご挨拶
- 若草第一病院のCT診断装置が新しくなりました!
- 若草第一病院 整形外科 ～整形外科疾患のあらゆるニーズにおこたえます～
- EPA候補者の紹介

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。各施設の院長・施設長より今年の抱負を表す漢字と新年のご挨拶を申し上げます。
本年も若弘会をどうぞよろしくお願い申し上げます。



若草第一病院

院長 山中 英治

「初春」のご挨拶を申し上げます。

春は「あけぼの」。この春には、ようようコロナ禍が収束されそうで、やっと長い夜が明けそうです。

「明けない夜はない」は、今回のパンデミックにおいても世界中で言われていますが、語源は「マクベス」の登場人物のセリフの“The night is long that never finds the day”だそうです。「明けない夜は長い」つまり「暗い時期は長く感じるもの」という意味かと思いますが、「明けない夜はない」は「日はまた昇る」と同じく前向きな意識で素敵ですね。

病気やケガもつらいですがやがて癒えます。今年は回復の年、明るくなりそうです。



わかくさ竜間リハビリテーション病院

院長 錦見 俊雄

新年明けましておめでとうございます。

今年は『歩』にしました。病院を少しずつ良い方向に進めていきたい、という意味を込めています。病院の機能・実力は急にはよくなりません。日頃から一步、一步、地道に努力を続けていくことが重要です。『歩』は上の冠が「止」で、下の脚が「少」から構成されています。止まることが少ないという意味です。今年のわかくさ竜間リハビリテーション病院も止まることなく、一步一步前進し、地域の皆様からさらに信頼される病院となるべく努めて参ります。



在宅医療

医療長 川合 右展

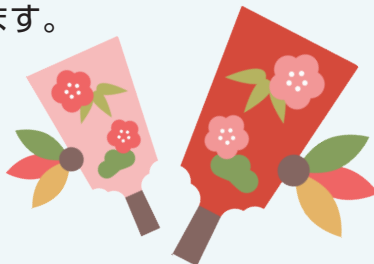
新年明けましておめでとうございます。

在宅医療では在宅療養中の患者さんへ、訪問診療、訪問看護などの多様な医療サービスを提供しております。これらのサービスを提供するのは「人」です。私たち一人一人がプロフェッショナルとして誰にも負けないくらいの専門性を高め、人としての魅力を高める必要があります。

そこで、今年の抱負を漢字一文字で表す文字として「人」を選びました。

本年も、顔の見える関係を大切にし、地域の皆さんに必要とされる医療機関であり続けられるよう努力してまいります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



介護老人保健施設 竜間之郷

施設長 大河内 二郎

コロナウイルス感染症が流行して2年近くがたちました。この間利用者へのサービスが行き届かないことが繰り返されました。施設の理念とは全く異なる、感染症法に基づく対策をせざるを得ない事態に職員一同頭を抱えたものです。こういった経験を乗り越えて、竜間之郷は「サービス」の原点にかえり、利用者の目線になった施設の運営を行っていきたいと考えています。そのためには本人だけではなく家族としっかりコミュニケーションをとることが必要だと考えています。だから交流の交にしました。



わかこうかいクリニック

院長 城村 尚登

新年あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルスの感染拡大があり、マスクの着用・3密の回避・手洗いやうがいの頻回の施行など、新しい習慣と共に”withコロナ”の新しい生活が始まっています。いろいろ手間がかかることもあるとは思いますが、患者さんや職員の幸せを祈願して、今年も頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



若草第一病院
診療放射線課

若草第一病院の CT診断装置が 新しくなりました！

この度、全身用80列CT診断装置(Aquilion Prime SP i Edition)を導入いたしました。
従来の装置に比べて**高速・高画質・低被ばく**での撮影が可能となりましたので紹介します。

新装置の特徴

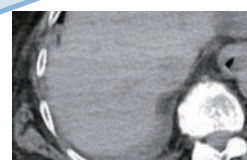
AiCE (Advanced intelligent Clear-IQ Engine)

AiCEというAI技術であるディープラーニングを用いた新しい再構成技術で、少ないX線量でも画像を作成することが可能となりました。

**最大70%の
被ばく低減が可能に！**



拡大

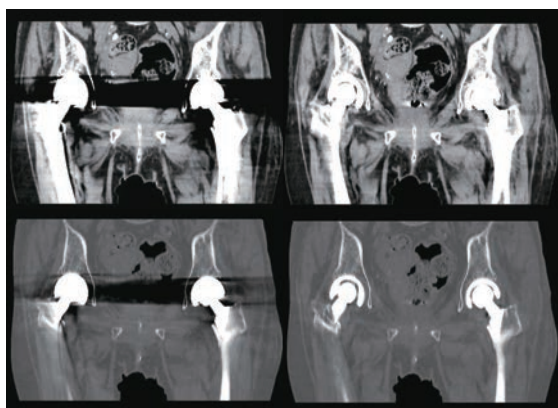


AiCEなし

AiCEあり

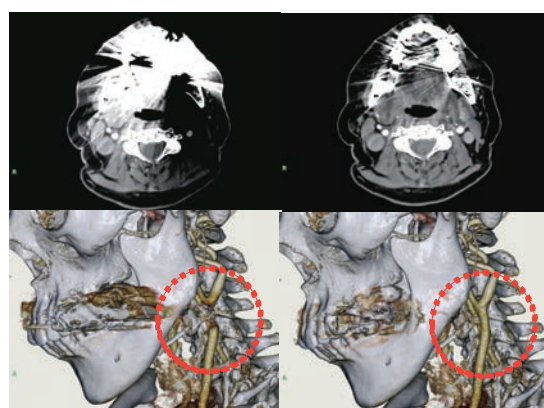
SEMAR (Single Energy Metal Artifact Reduction)

以前までは観察が困難だった人工関節や人工さし歯などの体内金属周囲の臓器もSEMARという新たな画像再構成技術により観察が可能となりました。



従来型CT

新型CT



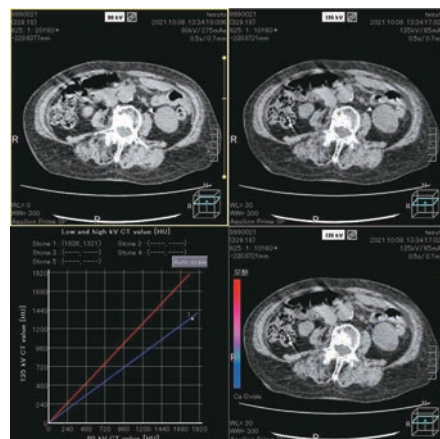
従来型CT

新型CT

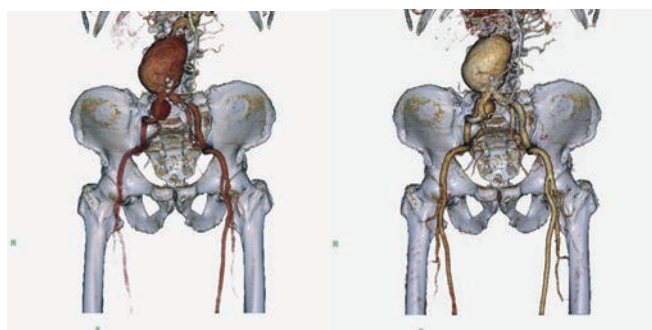
Dual Energy Helical Scan

エネルギーの異なる2種類のX線で撮影する技術で、以前までは行えなかった物質の性質や種類などを区別することが可能となりました。

炭酸カルシウム、尿酸など
結石の成分判別が可能に！



CE (Contrast Enhanced) Boost



従来型CT

新型CT

オリジナル画像にサブトラクション画像を加算し、従来よりも少ない造影剤で制度の高い血管の描出、周辺組織のコントラスト明瞭化が可能となりました。

患者さんの負担軽減

高速撮影により息止め時間が短縮されます。
また開口径も780mmと大きくなり圧迫感や閉塞感も軽減されます。



最後に



これからも安心して安全な検査を行い
地域社会の健康と健やかな人生に
貢献していきます。

若草第一病院
TEL 072-988-1409(代)



整 形 外 科

～整形外科疾患のあらゆるニーズにおこたえます～

若草第一病院の整形外科では、少子高齢化社会のあらゆるニーズにこたえるべく外傷はもとより各種の疾患に対応し、救急搬送患者の受け入れも積極的に行っています。

若草第一病院 整形外科の特徴

外傷では老若男女問わずその患者さんに最もよい治療を選択すべく、毎週月・水・金曜日に整形外科医全員で集まり、カンファレンスを行って治療方針を決定しています。

人工関節（股関節、膝関節）、スポーツに関する四肢の障害に対する治療、肩の関節鏡視下手術、手外科、脊椎・脊髄外科などは専門性をもった医師が対応しています。

専門分野の紹介

○人工関節センター

かつて人工関節は、安全に曲げ伸ばしできる可動域や耐久性がまだ明らかにされておらず、「無理に動かさない」や「耐久性は20年」などと患者さんに説明されていました。

しかし、近年これらが明らかとなり、大幅な改良がされ、機能性が高まりました。当科ではなるべく小さな傷で手術を行えるよう手術機械も改良し、また安全・正確に手術を行うためナビゲーションシステムを導入しています。地域の患者さんは、股関節や膝関節の痛みに対して「どこで相談したらよいか」や「どういった治療を受けたらよいか」という情報が少なかったようです。是非当科に足を運んでみてください。



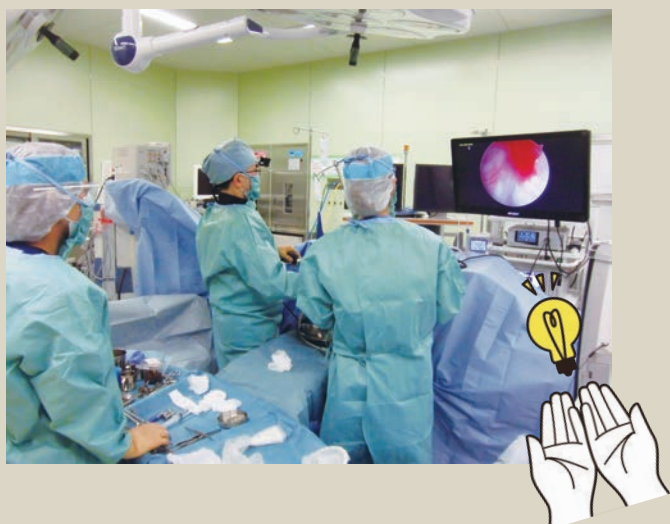
○スポーツ整形外科 / 肩の外科

スポーツ整形外科として関節鏡を積極的に使い、上下肢の靱帯再建、軟骨病変の治療、肩の腱板修復など、多くの治療を行っています。また、スポーツにおいては普段の練習における体の使い方の工夫や、ストレッチ体操の指導などを行っています。



○手外科

文字通り「手の疾患」を扱います。血管、神経、腱などの微細な構造を取り扱うので丁寧で忍耐強い操作を要する手術が多く、場合によっては手術用顕微鏡を用いて手術を行うこともあります。また、手関節では骨折や靱帯の治療に積極的に関節鏡を用いた治療もしています。



○脊椎外科

腰椎椎間板ヘルニアや腰部脊柱管狭窄症、頸椎症性脊髄神経根症において内視鏡や顕微鏡を用いた手術を導入しています。内視鏡を用いた手術は従来の手術よりも傷が小さく、日常生活に復帰するまでの時間が短いといった利点があり、多くの患者さんに喜ばれています。



○リハビリテーション科

日常生活における生活指導や運動療法について、療法士と連携して健康に役立つ情報を提供しています。

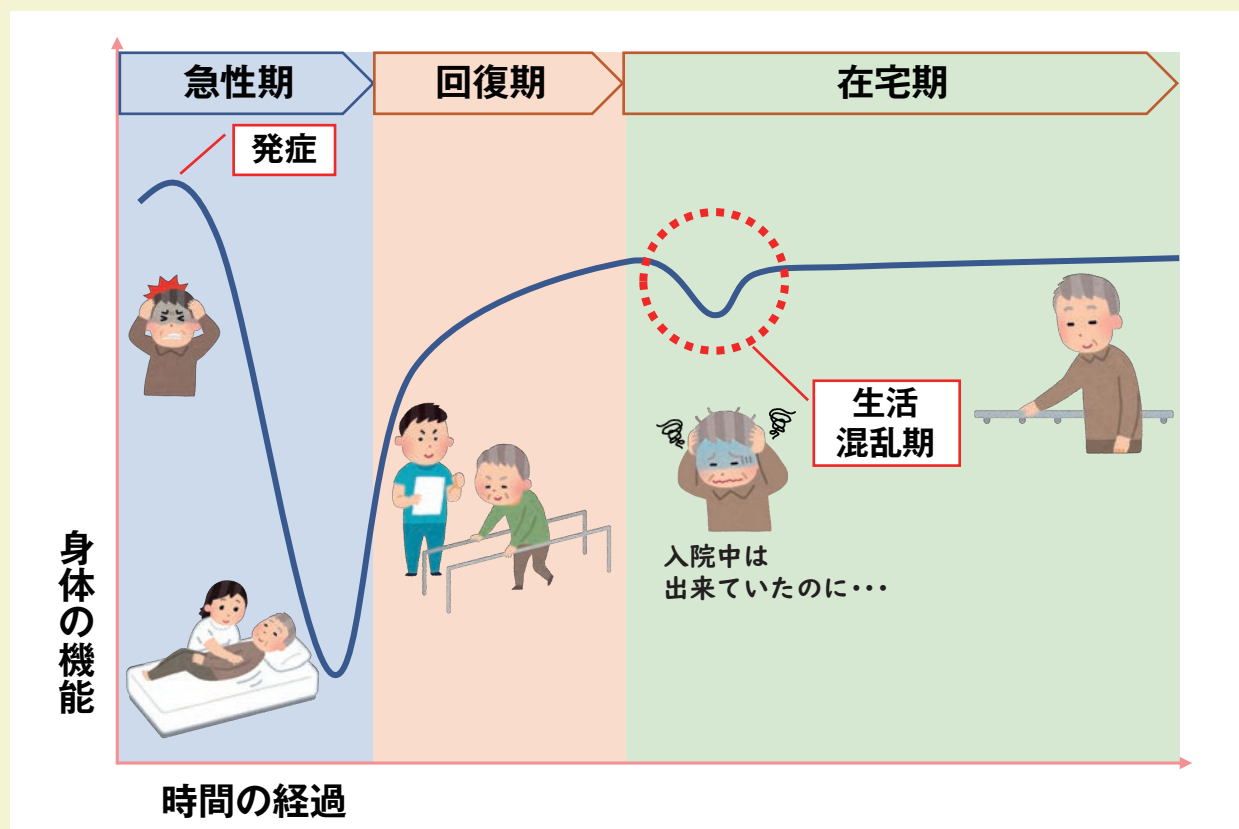


訪問でのリハビリテーションの大切さ

わかくさ大東訪問看護ステーション
理学療法士 特任課長 大東 康宏

訪問でのリハビリテーションとは？

脳卒中などの病気の発症後、骨折などの受傷後は急性期、回復期、在宅期と時期に応じて必要なリハビリテーションが実施されます。発症から回復までのプロセスはよく下図のように表されます。



リハビリテーションのイメージとして、

急性期では安静加療で身体が弱らないようにつなぎとめる。

回復期では背中を押して最大限の回復を図る。

在宅期では手をつなぎながら共に進んでいく。 といったように表現されます。

退院して家に帰ってきてからは、一時的に能力が落ちる**生活混乱期**というものがあり、「入院中は出来ていたのに家に帰ってから出来ない…」という声をよく聞きます。環境や生活リズムなど様々なことの変化に上手く適応できないことで混乱が生じます。訪問でのリハビリテーションはこの生活混乱期を乗り越えて、より良い生活に移行する支援をしています。また、地域医療が促進され小児から難病、終末期の看取りまで幅広い訪問看護・リハビリテーションが求められるようになっていきます。私たちは訪問看護ステーションに勤務する強みを活かして、看護師さんたちと連携しながら日々様々なニーズに応えられるよう努めています。

訪問でのリハビリテーションにおける療法士の役割

理学療法士



PT : Physical Therapist

家の中で動きやすい、疲れにくい、外出しやすいといった身体づくりが出来るように努めています。訪問時は筋力や関節可動域の向上のみでなく、専門職として、身体に合った自主練習の提案、福祉用具の選定や住宅環境の提示、介護者の方への介護指導も実施しています。

「身体が楽になった」「自分で家事や買い物が出来るようになった」と身体や生活の変化を感じてもらえる訪問を心がけています。

作業療法士



OT : Occupational Therapist

自宅で生活を送る上で、利用者さんの「したいこと」「困っていること」「周りの人たちが出来るようになって欲しいこと」に着目して訪問しています。トイレや入浴といった身の回りの動作練習、掃除や洗濯、調理といった家事練習、混乱なく過ごすための予定管理・過ごし方と様々なことに対応しています。利用者さんが以前行っていたことを再開でき、生活の場で役割を取り戻せることが在宅で大事なことで考えています。

言語聴覚士



ST : Speech-Language-Hearing Therapist

主に言葉によるコミュニケーションや飲み込みに機能低下のある方に訓練・指導・助言を行い機能の維持・向上を図っています。特に脳卒中や事故など脳のダメージによる失語症（言葉の障害）や高次脳機能障害（記憶障害、注意障害など）、顔や口の麻痺・手術による構音障害（話しづらさ）、加齢や疾病による嚥下障害（飲み込みにくさ）の方々を訪問しています。小児から難病まで幅広く対応できるように努めています。



社会医療法人若弘会 在宅医療

URL <https://www.wakakoukai.or.jp/zaitaku/>





処方された“抗菌薬”を正しく飲めていますか？

抗菌薬について

抗菌薬とは？

細菌を退治する薬で、その感染症や原因となる菌によって使われるものは異なります。抗菌薬について正しく理解して飲むことが大切です。しかし日本では、抗菌薬を正しく飲んでいる割合は低く、3人に1人は抗菌薬を飲む期間を守れていません。

抗菌薬を飲むのを途中でやめてしまう理由

1. 治ったと思ったから
2. 薬を飲み忘れたから

処方された抗菌薬は出された分をしっかりと飲み切ること！

抗菌薬を途中でやめてしまうと、完全に治らず再発したり、抗菌薬が効きにくい菌(耐性菌)が出現し治りづらくなることもあります。また余った抗菌薬を保存しておいて、同じような症状が出た時に自己判断で飲むという話もよく聞きます。しかし、次に飲む時に同じ細菌による感染症でなければ効果は期待できません。感染症によって効果のある抗菌薬の種類や飲む量、期間は異なります。必ず所定の飲み方・期間はしっかりと守ってください。

※WHO(世界保健機関)によると、不適切な抗菌薬の使用がこのまま続いた場合に、耐性菌による年間死者数が2050年には1000万人になると予想されるという恐ろしいデータも報告されています。(現在での耐性菌による年間死者数は70万人)



抗菌薬は飲み合わせに注意！

牛乳で飲んだ場合にカルシウムと薬の成分が結びつくことで吸収が悪くなるものがあります。抗菌薬以外でも、お酒と一緒に飲むと気持ち悪くなったり、薬の効き目に差が表れるものもあります。基本的には水で飲むようにしてください。

※飲みにくい場合、お子さんにはアイスクリームや服薬支援ゼリーを活用する方法もあります。ただし、抗菌薬の種類によりますので、まずは薬剤師にご相談ください。

栄養と健康 管理栄養士が紹介する 嚥下食おせちでお正月を ～竜間病院おせちの歴史～

わかさ竜間リハビリテーション病院
栄養サポート課



管理栄養士のおせち準備は、10月頃より始動し、献立会議が行なわれます。

当院では、日本の病院給食において嚥下食が確立されていない約20年前より、新年の三が日は、見た目も楽しんで食べてもらいたいという栄養士の想いから、嚥下食おせちのプロジェクトが始動しています。

食材によっては固まりやすさに違いがあり、綺麗に形を抜くためにはゼラチンの量を増やす必要があったため、患者さんによっては、食べづらさが残るという問題点がありました。



数年前より、嚥下食の分類も確立され、食材が違って飲み込みやすい食事を提供できるように試作を重ね、見た目と食べやすさ両方に配慮した嚥下食おせちが提供できるようになってきました。例えば、お餅は嚥下食で禁忌食品となっていますが、当院では、お粥からお餅のゼリーを作る事で、お雑煮も安全に提供する事ができます。また酢レンコンや、煮しめこんにゃくなども、酵素やゼリー剤を利用する事で嚥下障害があっても提供できるようになりました。



おせち料理は、神様への供物料理であるとともに、無病息災や繁栄を願う縁起物です。縁起のよい食材がふんだんに使用され、料理1品1品が意味を持ちます。今年のおせち料理も患者さんの回復を願い、心をこめて丁寧に作りますので、ご期待ください！





EPA候補者とそのサポートをする担当者メッセージ

2009年度よりEPA候補者の受入れを開始。

来日が延期された2020年度のフィリピン人看護師・介護福祉士候補者4名が9月末より就労しました。

EPAとは・・・

物品やサービスの貿易のみならず、人の移動やビジネス環境の整備など様々な協力や幅広い分野での連携を促進し、二国間又は多国間で親密な関係強化を目指す条例



わかさ竜間リハビリテーション病院 (EPA看護師候補者受入れ施設)



1年前日本に行くことが夢でしたが、今日日本で働くことが出来て幸せです。職員や患者さんと日本語で話すことは難しいですが、先輩方がサポートしてくれて楽しくなってきました。仕事が上手になるよう一生懸命働いて勉強します。



わかさ竜間リハビリテーション病院に入職した時は日本語が分からず不安でした。会話や本を読むことは難しいですが、職員さんからのサポートがあり安心しました。勉強と仕事を頑張ります。



(教育担当者)

臨床現場での学びが実践的な知識の習得に繋がるよう支援しています。候補者が日本語での専門用語に頭をひねりながら試験勉強に日々頑張っている姿は、職員のモチベーションも上がり逆に励まされます。

介護老人保健施設竜間之郷 (EPA介護福祉士候補者受入れ施設)



日本語、特に関西弁は難しいけれど、先輩や同僚もサポートしてくれ、楽しくなってきました。仕事が上手になるよう一生懸命働いて勉強も頑張ります。



(教育担当者)

利用者さんの名前をメモに書き、積極的にコミュニケーションを図っています。また、常に周囲を見てお茶出し対応を行い、入浴介助では一つ一つ声かけもしています。利用者さんとの関係性を築きながら、技術と知識の習得を期待しています。



毎日利用者さんと話して会話の練習をしています。関西弁で分からないこともあります。もう一度ゆっくり話してもらい理解するよう頑張っています。沢山勉強する時間があって嬉しいです。



(教育担当者)

いつも笑顔で丁寧に利用者さんや職員に関わっています。日本語は伝わりにくいこともありますが、一生懸命さは伝わり、休み時間には日本語の勉強もしています。鼻歌を歌う陽気な一面もあり、一緒に頑張っていけたらと思います。

若弘会の看護

ケアの場面を活かしたNICD

わかくさ竜間リハビリテーション病院 宮脇 真弓



わかくさ竜間リハビリテーションで2017年から導入しているNICD看護技術には、拘縮した関節の可動域を拡大させる、身体開放を目的とした温浴刺激療法や運動療法があります。当初は看護職員で実践していたNICDでしたが、今では日々共に患者さんに関わる介護職員も関節拘縮の改善に取り組みたいと、意欲的に入浴など日常のケア場面を活かして介入に参加するようになりました。これからも看護職員、介護職員で協力し、患者さんの活動性を妨げる筋緊張や関節拘縮の改善を目指したNICDを提供していきます。

※NICD

Nursing Independence for the Consciousness Disorder and the Disuse Syndrome patient
意識障害・寝たきり(廃用症候群)患者の生活行動回復看護

保育園の紹介



一人ひとりに寄り添う保育

わかくさちびっこ園 課長 末久 陽子



若草第一病院から徒歩1分の住宅街にわかくさちびっこ園があります。2014年に建替えが行われ、子供用のトイレや開放的な保育室、そして屋上もあります。コロナ禍で公園へ行けない時期には、園前や屋上、堤防で元気に遊んでいます。少人数でアットホームな雰囲気の中、子ども一人ひとりに寄り添う保育を日々心がけ、保護者の方々が安心して子どもを預けられる保育環境をこれからも提供していきます。



制限の中での保育行事

たつまちびっこ園 課長 野島 恵子



たつまちびっこ園では年間を通してさまざまな行事を企画しています。今年は、コロナの影響で、ハロウィンの仮装をして病院内を歩く可愛い姿を保護者の方々にお見せできませんでしたが、竜間之郷で菜園の芋ほりをしたり、お菓子をいただいたりと、制限のある中、子ども達は楽しめました。今後も感染予防に努め、保護者の方々に安心いただける様、保育を行っていきます。

若弘会看護部の紹介

看護部目標「ありのままを受け止め、心に寄り添う看護ができる」に基づき、専門職としてのキャリア開発と自律を支援しています。各施設の部署の取組みについてご紹介します。

～自宅退院に向けて～

若草第一病院 看護課長 細田 美希

整形外科病棟には、高齢者の骨折患者さんが手術目的で入院されます。手術翌日よりリハビリが開始となりますが、外傷による骨折患者さんは離床することへの恐怖心や抵抗感から思うように進まないことがあります。その思いに寄り添い、ご本人のペースに合せた離床を行っています。また、退院後の生活や社会復帰への不安をできる限り軽減し、自宅退院に向けて患者さんと関わっています。



～最適な退院後の生活を目指して～

わかくさ竜間リハビリテーション病院 看護課長 益池 亨



急性期病院からの転院時、患者さんは久しぶりにご家族と笑顔で再会されますが、今後の生活に不安を抱いていることが多いです。まだ、面会禁止が続く中、リモート面会を開始しましたが、入院中の患者さんの様子は以前より見えにくくなっています。私たちは、患者さんの現状をご家族に電話でお伝えし、入院生活や今後の方向性等を相談しながら、最適な退院後の生活に向けて個々の患者さんと関わっています。

～いつも笑顔で充実したケアの提供を目指して～

在宅医療 看護課長 米増 雪子

当訪問看護ステーションには、看護師及び療法士20名が在籍し、月170名以上の利用者さんに看護とリハビリテーションを提供しています。毎年、当ステーションには新人看護師が入职してきますが、先輩看護師から愛情をもった指導と利用者さんやご家族から多くの事を教わりながら日々成長しています。いつも笑顔で、充実したケアを提供でき、職員が喜びを感じ続けられる、そんなステーションづくりを目指しています。



若弘会看護部の教育研修

質の高い看護の提供に向けて継続教育の更なる充実を目指しています。

院内ローテーション研修に期待すること

若草第一病院



若草第一病院では、新人ナースが各部署に配属され半年経った8月頃、院内ローテーション研修を1ヶ月行います。他部署の特徴を学び、視野を広げ、自部署では経験できない看護技術を習得することを目的としています。他部署での研修とあって緊張や不安もあると思いますが、研修先の部署ではサポート体制を整え、迎え入れています。新人ナースと共に先輩ナースも成長できることを期待し、これからの活躍を楽しみに見守り続けていきます。

教育病棟での経験を後輩指導に活かす

わかさ竜間リハビリテーション病院



当院には新人看護師や中途入職者が一定期間、基本的な技術や知識を習得するための「教育病棟」があります。その教育病棟で、同期の仲間と共に学んだ看護師の中には、後に教育病棟で中心となって職員指導にあたる職員もいます。教える立場になった職員が、教育病棟で教わった経験を活かしながら、新人看護師の不安を理解できることを自分の強みに変え、患者さんの笑顔に繋がる関わりができるよう期待したいと思います。

2年目の訪問看護師が老健施設研修で学んできたこと

在宅医療 わかさ老人訪問看護ステーション



新人看護師は、訪問看護で経験できない看護技術を若草第一病院で学ぶことになっていますが、新型コロナの影響から昨年度は中止になりました。今年度は、ワクチンの普及により予定通り老健施設研修は実施され、今年2年目になる看護師も移動や食事介助等の技術を経験することができました。また、高齢者の特徴や認知症ケアについても学び、3日間の研修を終えてから少しアセスメント力がついたように思います。

外来表のご案内

若草第一病院 外来担当医表

当院は病診連携のもと、紹介予約を基本としております。
急患につきましてはお電話にてお問い合わせください。

TEL 072-988-1409
FAX 072-982-5425

外来担当医表は都合により変更する場合がございますので必ずご確認のうえご来院ください。

午前診：9:00～12:00

午後診：完全予約制となっており、一部の診察を除き専門外来のみです。

●：紹介のみ、◎：予約制

2022年1月1日現在

		月	火	水	木	金	土
午前	内科	山口 哲央	金 鎬俊	霜野 良弘	金 鎬俊	金 鎬俊	坂上 祐司
		岡本 麻知子	金山 裕一	清水 雅之	小谷 晃平	岸野 恭平	
	消化器内科	岡田 章良	遠山 まどか 診察時間9:30～12:00	岩田 恵典 親泊 智英	岡田 章良	龍華 庸光	瀬川 哲也 診察時間9:00～11:00
	循環器内科	●◎森 益規	●◎森 益規 診察時間9:30～12:00	●◎北崎 和久	●◎森 益規	井坂 拓	武田 徳弘
	呼吸器内科	棚野 吉弘	—	●◎森 益規	—	●◎北崎 和久	
	小児科	吉村 彰友	吉村 彰友	柏尾 誠	姜 成勲	小川 晃一	—
	脳卒中センター	熊谷 哲也	担当医	吉村 彰友	吉村 彰友	吉村 彰友 診察日第2・3・5週	—
	外科 緩和外科・緩和ケア	中本 博之	山中 英治	川井 正統	根岸 克行	熊谷 哲也	担当医
	整形外科	辻本 由美子	領家 幸治	北川 克彦	●◎山中 英治 診察時間9:00～10:00	池側 恭洋	緩 小田 道夫
		国村 大樹	国村 大樹	—	●◎担当医	田村 地生	
	人工関節センター	—	◎原口 圭司	—	領家 幸治 辻本 由美子 診察時間9:30～12:00	—	—
	肩・スポーツ外来	—	—	—	◎原口 圭司	—	—
	形成外科 皮=皮膚科・形成外科	西山 都 診察時間10:00～12:00	—	—	今田 光一 診察時間9:30～11:30	—	—
	婦人科	小林 理章	小林 理章	小林 理章	皮 細本 宜志	—	—
	眼科	—	福田 全克 診察時間9:00～11:30	—	小林 理章	小林 理章	金森 崇修
	泌尿器科	中川 雅之 診察時間9:00～11:30	—	林 知行 診察時間9:00～11:30	林 知行	米田 廣美 診察時間9:00～11:00	—
		林 知行 診察時間9:00～11:30		原田 二郎 診察日第1・3・5週	林 知行 診察時間9:00～11:00	林 知行 診察時間9:30～11:30	
	耳鼻いんこう科	天野 かおり	天野 かおり	天野 かおり	—	天野 かおり	—

		月	火	水	木	金	土
午前 9:00～12:00	内科	佐藤 修一	杉口 茂	蘭田 智弘	紙谷 富夫	錦見 俊雄	—
午前 9:00～12:00	歯科	貴島 真佐子	貴島 真佐子	貴島 真佐子	貴島 真佐子	貴島 真佐子	—

わかこうかいクリニック 外来担当医表

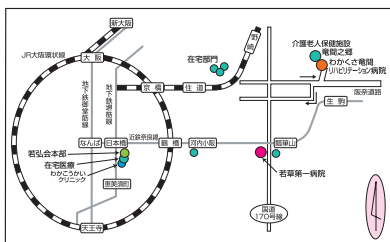
2022年1月1日現在

		月	火	水	木	金	土
午前 9:00～12:00	外来1診	城村 尚登	城村 尚登	城村 尚登	池岡 直子	城村 尚登	西口 修平
	外来2診	—	—	西口 修平	—	—	—
午前 9:30～12:00	腹部エコー検査	池岡 直子	—	—	—	—	康 典利(第2・第4)

社団の理念

最高の医療を提供し、
地域社会の健康と健やかな
人生に貢献します

当社は、東大阪市を中心に
機能や特質の異なる施設を擁し、
急性期医療から在宅療養にいたる
医療ネットワークを展開しています。



広報誌 わかくさ 2022年 No. 117

発行：社会医療法人 若弘会
大阪市浪速区日本橋4-7-17
発行日：2022年1月1日

ホームページを開設しています。
<https://www.wakakoukai.or.jp>
e-mail: info@wakakoukai.or.jp



広報誌わかこうさの表紙を飾るお写真や
コラム、またご意見、ご感想などがご
ざいましたら、お待ちしております。



メールアドレス
QRコード



社団ホームページ
QRコード